

—静かな夜と空を返せ—

発行日：2012年10月18日
発行者：(代表) 浅野太三

No. 9

横田・基地被害をなくす会 NEWS

原告団 NEWS No.0-2 発行

連絡先：〒196-0001 東京都昭島市美堀町3-13-1 TEL&FAX：042-542-5625 E-mail：yokota_nakusukai@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/ (事務局ブログ：<http://blogs.yahoo.co.jp/mjfqp770>)

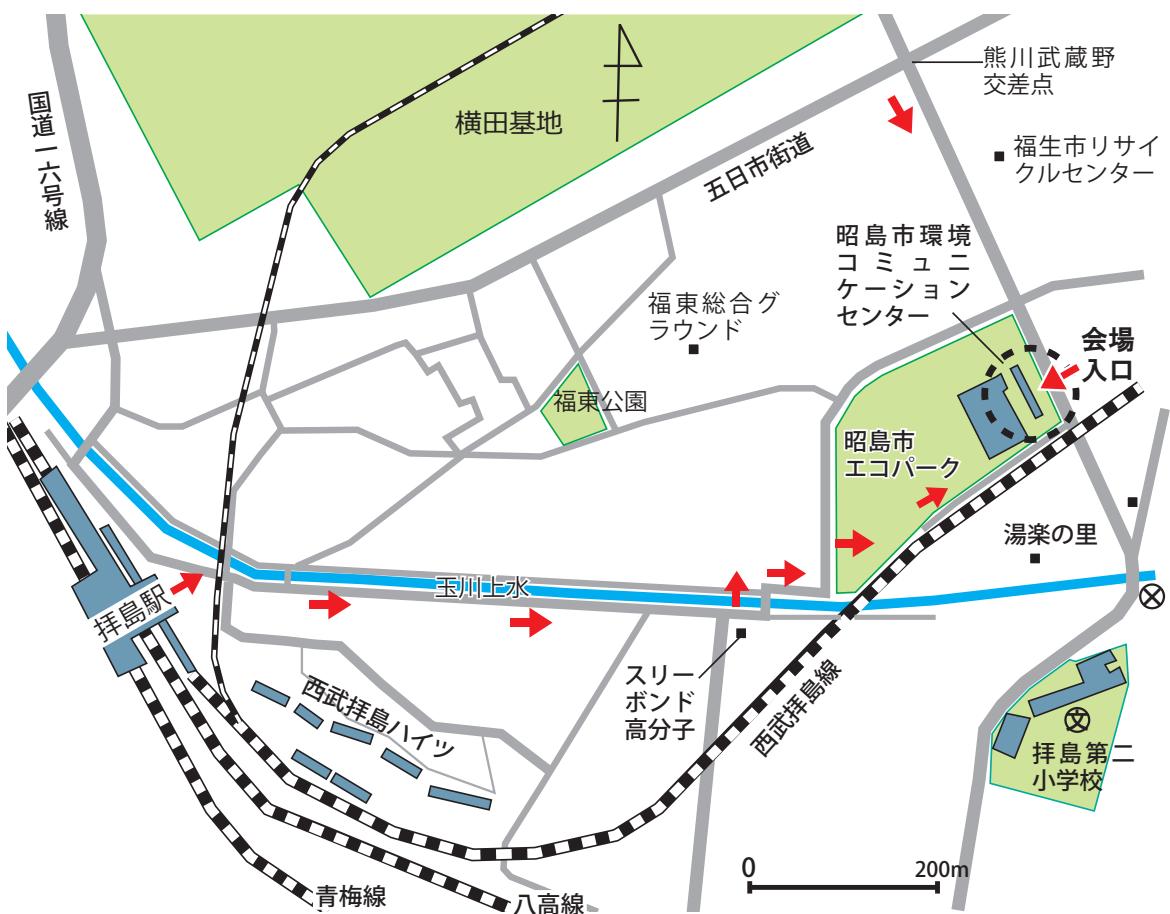
発行：横田・基地被害をなくす会、第9次横田基地公害訴訟準備会

※今号は、都合により「横田・基地被害をなくす会」と「第9次横田基地公害訴訟原告団」の合同発行としました。

原告団結成総会 11月11日 (日)開催:午後2時~

第9次横田基地公害訴訟原告団結成総会を、11月11日(日)に、昭島市・環境コミュニケーションセンターで開催します。原告団の皆さんへの参加を呼びかけます。また、支援の意味で、横田・基地被害をなくす会の皆さんへの参加も呼びかけます。

総会では、規約、役員、活動方針などを決定し、12月に提訴する裁判の方向性を議論します。多くの皆さんの参加をお願いします。また、弁護団からの説明や支援・共闘してくださる団体からの挨拶・メッセージももらいます。



提訴に向けて、書類点検中～ 再度のお願いに協力ください

原告団の方々へのお知らせです。

現在、提訴に向けていただいた書類の点検中です。事務局から不足・不備分をお知らせしますので、ご協力ください。

また、原告の皆さんすべてに、追加のお願いです。皆さんのお住まいを（こちらから送る）地図の上に印をつけることで示していただきたいことです。

遅れが出て申し訳ありませんが、これらの作業を11月初旬に終わらせて、年内に提訴する予定です。

返信用封筒を同封しますので、書類の返信にご利用ください。

（原告団準備会・事務局）



9月立川市議会 『オスプレイ配備に反対する意見書』を採択 普天間基地閉鎖を求める沖縄県民の運動にイエス！ 米軍・野田にNO！

去る9月28日、立川市議会本会議において、遂に意見書（別記）採択となった。6月議会では陳情否決となつたが、沖縄はじめ基地周辺住民の命を危険にさらす重要問題であることから、再度陳情し、議員多数の賛成を得て採択となった。横田・基地被害をなくす会と無防備地域宣言運動ネット・たまとの共同で陳情し、9月18日同議会の総務委員会には本会事務局次長（塚本）が出席して趣旨説明を行なつた。五十嵐議員（市民の党）から積極的な賛成意見がだされ、自民系と民主系議員が退席の中ではあったが、全員一致で採択。本会議においても、大澤議員（本会副代表 みどり立川）はじめ、生活者

ネット、共産党、公明党などの賛成により可決される快挙となつた（自民と民主系は反対）。直ちに、総理・防衛大臣宛に意見書が送付された。

沖縄地元の有力新聞である『琉球新報』の注目するところとなり、10月2日朝刊にて紹介され、沖縄県民の皆さんを励ますことにつながつた。また、9月末には、「横田基地における飛行訓練や飛来」に反対する横田基地周辺自治体首長連名の要請が外相に向けて行なわれるに至つた。

意見書においては、横田基地の爆音被害も記され私達の運動への共感を読みとれる。この意見書採択が、今後自治体の平和行政に活かされることが期待

される。立川市に続き、横田基地周辺の全自治体議会での採択を呼びかけたい。 (事務局・T)

米軍垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備に関する意見書

本年6月29日、米国政府から日本政府に対し、米軍垂直離着陸輸送機MV22「オスプレイ」を沖縄県米海兵隊普天間飛行場へ配備するという通報がされました。

これに対し、6月18日に那覇市議会、同月26日に沖縄県議会、同月28日に宜野湾市議会を皮切りに沖縄県内全ての市町村議会でオスプレイ配備計画撤回を求める決議や意見書が採択され、7月19日には全国知事会において「安全性について大きな懸念」を抱き「配備と飛行訓練等について関係自治体の意向を十分尊重するよう」との緊急決議が採択されました。

米空軍のオスプレイは、6月14日（日本時間）に米国フロリダ州の演習場で墜落したばかりで、去る4月には、米海兵隊のオスプレイがアフリカのモロッコで墜落し乗員2人が死亡しています。このように、2カ月間で2度も墜落するのは極めて異常であり、ニューメキシコ州では地元住民の反対によりオスプレイ訓練が保留されていることからみても、自動回転機能（オートローテイション）すら欠如させたオスプレイが危険な欠陥機であることは否定できません。

沖縄県内にこのように危険なオスプレイを配備することは、戦後67年も米軍基地の過重負担に苦しんでいる沖縄県民の「負担軽減」どころか県民が強く望んでいる「一日も早い危険性の除去」に逆行するものです。

さらに、明らかになった全国6ルートの米軍の低空

飛行訓練は、全国21県の市町村が対象となっており、普天間基地配備後には、同ルートでのオスプレイによる低空飛行訓練計画が公表されています。この訓練は過去に高知県早明浦ダム墜落などの重大事故を引き起こしており、全国の住民を墜落の危険と恐怖にさらすもので、重大な危惧を抱かざるを得ません。

もはや、オスプレイ配備に反対する10万人を越えた県民大会（9月9日）を成功させた沖縄県民・住民の意思は明確となっています。

地方自治の本旨は住民意思を実現することであり、外交や安全保障も、その本質は国民の幸福を実現することにあり、この根本にあるのはやはり住民の意思に他なりません。明確に示された住民意思を尊重すること抜きに地方自治の発展と住民の幸福を実現することが難しいことは明らかであります。

立川市は、地元住民らの運動によって米軍立川基地の拡張を阻止し、また、基地を撤去させ発展してきた歴史を有していますが、今なお、米軍横田基地を離発着する米軍機の爆音に苦しめられている住民が少なくありません。その立場からも、オスプレイ配備問題は沖縄だけの問題として無視することはできません。

よって、政府におかれましては、米軍垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備について、沖縄県議会、那覇市議会、宜野湾市議会意見書及び全国知事会緊急意見書をはじめとした地方自治体議会の意見書を尊重されるよう要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成24年9月28日

立川市議会

議長 佐藤寿宏

緊急連絡先

当会の事務所は、原則として毎週水曜日夜7時～9時には事務局員が在所しています。その他の日は、留守電に連絡先電話番号・お名前を録音するか、FAX、メールでお願いします。留守電・FAXは2日毎、メールは毎日チェックしていますが、お急ぎの方は事務局・福本（携帯090-4951-0800）までご連絡ください。

なくす会・会費の振り込み先

会費納入は、以下の口座へお願いします。

①ゆうちょ銀行 店番008 普通6875225

②ゆうちょ銀行 記号10040 番号68752251

※①②とも名義は横田・基地被害をなくす会

③中央労働金庫立川支店 店番282

普通預金（口座番号）1074068

（会員枝番号90002-000）

名義：横田基地飛行差し止め訴訟団 浅野

※年会費は、個人2000円、団体1口2000円

※原告団会費は、まだ原告団が結成されていませんので、支払い不要です。

オスプレイ普天間配備の現場で

大嶽貴恵（横田・基地被害をなくす会・会員、昭島市議会議員）

岩国基地から沖縄・普天間基地に6機のオスプレイが移動～配備された翌日＝10月2日、私たちは沖縄を訪れました。この日は、さらに3機が普天間に到着するというなか、嘉手納基地～普天間基地を見てきました。

普天間基地第3ゲート前は「オスプレイ帰れ！」のシュプレヒコールをあげる人々（私もいっしょに声をあげました）と、周りを取り囲む日本の警察でいっぱいでした。

普天間基地へ行く前、私は佐喜眞美術館を訪れ、沖縄戦の悲惨さを目で見て体験してきました。また、館長の佐喜眞さんの話を聞くこともできました。沖縄戦で、沖縄の少女をスパイ呼ばわりしたうえで、殺し、食べ物を奪った日本軍の話も。結局日本軍はウチナーンチュ（沖縄の人）を救わなかった事実も語ってくれました。軍隊は国民を守りません。一人ひとりの命を守りません。ましてや米軍は、日本の国民を守るものではないことを改めて痛感しました。

また、佐喜眞美術館は三方を普天間基地のフェンスに囲まれた立地条件にあり、佐喜眞さんの「戦後40年間、基地はなくならず、沖縄の状況は変わっていない」の発言を実感させられました。

ところで、基地前のオスプレイ反対の輪の中には、若い人たちも、子ども連れのお母さんたちも加わっており、原発反対の国会前の行動同様、この国が変わりつつあることも感じさせられました。それは私がこのところ見ているFACE BOOKにも表れています。オスプレイ反対の座り込みやオスプレイ飛行阻止の凧上げを訴える書き込みに、Ustreamで参加したいとの書き込みなども寄せられています。そういう時代になってきたということです。



普天間基地・第3ゲート前のオスプレイ配備反対行動



宜野湾市嘉手納の高台から普天間基地を臨む～このときにはオスプレイが岩国から9機移動してきていた。

この日、私が普天間に着いたときに、オスプレイは普天間に飛来した後だったのですが、オスプレイは、2004年にヘリコプターが墜落した沖縄国際大学近くのマンション上空をヘリモードで通過し、日米合意に違反して着陸したそうです。沖縄の方々の怒りはもっともだと思います。

私はオスプレイもいらない、米軍基地もいらないと改めて思いました。横田基地に隣接した昭島に住む私たちが沖縄の現状を黙って見ていてはいけないのではないかと。

今、9月の昭島市議会でオスプレイ配備反対の請願、陳情が委員会で採択されたにも関わらず、本会議で否決されたのは、なんとも悔しいと実感しています。本会議では、横田基地への飛来の可能性もあることが報告されています。オスプレイは、熟練された操縦士でさえ事故を起こしてしまうほどで、米国では環境問題から飛来を拒否した地域があるといわれている中、本会議で尖閣諸島の問題や抑止力としてオスプレイが必要と（問題のすり替えをした）討論した議員がいましたが、私には理解できません。その話を沖縄の人にしたら（事の本質がわかっていないと）、大笑いされました。

10月3日沖縄の新聞のトップ記事は、最新鋭ステルス戦闘機F35の嘉手納配備問題でした。オスプレイに終始することなく、毎日が戦時下のように、基地を中心とした記事がにぎわう沖縄の現実を目にした思いでした。

（大嶽さんのブログに本人へのインタビュー内容を加味してまとめました。＝文責・福本）



佐喜眞美術館・ウチナーンチュの顔写真の前で、佐喜眞館長と筆者。

横田基地の撤去を求める集会と デモに参加しよう！

島田清作(横田・基地被害をなくす会・副代表)

「沖縄と共に声を上げよう、横田基地もいらない、市民交流集会」が今年も開かれます。3年目を迎えるこの集会は、アメリカ海兵隊のオスプレイ沖縄配備に反対して県ぐるみで闘っている沖縄の人々に呼応して東京でも米軍基地の撤去と日米安保条約を無くす運動を大きく盛り上げようとして取り組まれてきました。

今年の集会では記念講演で孫崎享（まごさきうけい）さんにお願いしています。孫崎さんは元外務省の官僚で、いくつもの国の大使を務め、国際情報局長という要職にもついてこられました。最近、出版された「戦後史の正体」や「アメリカに潰された政治家」などが今、評判になっている方です。

「アメリカの言いなり日本、日米安保の虚構」と題する今回の講演では、戦後60年間続いてきたアメリカ追従の日本の政治や現在のオスプレイ、原発問題、中国や韓国との領土紛争について語っていただけだと思います。

講演に先立って、午前中は沖縄・辺野古での新基地建設反対闘争や7月16日の東京での反原発10万人集会の記録映画の上映があり、集会終了後には全員で横田基地へ向けてのデモ行進も予定されています。

横田・基地被害をなくす会も実行委員会に参加しています。ぜひ、皆さんの集会への参集をお願い

いします。参加費は無料です。

日時 10月27日(土)午前10時より

場所 福生市民会館大ホール（青梅線牛浜駅下車）

映画「ひろしま」を紹介します



経過報告と今後の予定 (2012年8月29日～)

8月29日 弁護団・原告団会議
8月30日 区分航空図(裁判資料)入手
9月9日 オスプレイ反対集会参加(沖縄)
オスプレイ反対集会参加(国会前)
9月11日 昭島市・基地対策特別委員会でオスプレイ
陳情・請願の4本が採択
9月12日 役員会議兼事務局会議
9月17日 原告募集戸別訪問(立川西砂地区)
9月18日 立川市・総務委員会でオスプレイ反対陳情
2本が採択(本会議でも採択)
9月24日 横田基地周辺5市1町が、国に対しオス
プレイの横田基地での飛行反対要請を行う

9月25日 弁護団・原告団会議
9月30日 岩国・オスプレイ抗議集会(メッセージ)
10月1日 原告募集戸別訪問(立川西砂地区)
10月4日 事務局会議・原告募集対策会議
10月7日 役員会議
***** 【以下は予定】 *****
10月22日 横田集会(三多摩平和運動センター主催)
10月27日 10.27 横田基地もいらない!市民交流集会
11月1日 弁護団・原告団会議
11月3日 役員会議
11月11日 第9次訴訟・原告団設立総会
12月2日 立川・自衛隊監視テント村40周年の集い

住所やアドレスの 変更がある方は、 お知らせください

NEWSが宛先不明で戻ってくることが、また、急ぎのお知らせをメール送付しても届かないケースが見受けられるようになりました。住所変更やメールアドレスの変更がある場合はお知らせください。

▶第9次訴訟の準備が大詰めに近づいています。原告を1人でも増やしたいと、この夏、横田基地の滑走路南端の東側、立川市の西砂地域を戸別訪問して歩いた。

米軍横田基地は絶え間なく拡大し続けてきました。立川から五日市街道を西に向かって走ると、横田基地手前で大きく南に迂回する。かつてこの街道は真っ直ぐだった。滑走路を延長するために、昭和30年代に曲げられた。旧街道が残っていて、直進すると両側に欅の大木が並ぶ西砂の集落がある。消防の望楼の先の突き当たりは横田基地だ。70年代にはこの望楼のあたりまで基地を拡張し、嘉手納基地のように滑走路を2本化する計画があった。滑走路に沿ったバス通りがあるが、この道を走る自動車の光が着陸体制に入ったパイロットの目を射るという理由で、この道路の廃道化、東への付け替えの目論見もあった。保守的と言われる西砂地区では、それに反対する有志が立川市役所玄関で座り込みをし、集落始まって以来のデモもあった。回ったのはその三角地帯、基地に隣接した騒音地帯だ。座り込みの立役者だった農家のYさんは亡くなつたが、息子さんとお孫さんがキャベツ栽培を主体に農業を続けています。作業小屋で休んでいた今の当主が孫のために栽培したスイカをごちそうしてくれた。おやじさんの横田基地への抵抗精神を大切にしている。「線香をあげてくれ」と言われた。土地買収に応じて農

天欄

業をやめた人が近くで商売をはじめたが、うまくいかなかった、という。「別のやりかたで俺たちは抵抗続けるから」と原告になるのは断られた。新住民(といっても越して20年以上たつ人々が住むアパート)も訪問した。「だって基地があること知っていてこしてきたでしょ。だから裁判は起こせない」という女性。頭上をかすめて巨大輸送機が離着陸し、怖いし、騒音で何もできなくなる、という。その人は「オスプレイとか配備されればきっと横田に飛んでくる」と確信を持って話していた。借家の住民の何人かが原告になってくれた。基地隣接地域の人々を訪問し、話を聞くのは大事だ。炎天下の汗だくの訪問だったが、実に勉強になった。(K)
▶またも沖縄で米兵による女性暴行事件が起きた。オスプレイの普天間強行配備、日米合意を踏みにじる飛行に加えて、このありさまである。地位協定の改訂程度でこの種の事件は食い止められない。米兵の意識を「米軍の指導」で変えられるとは思えない。占領軍だという思い上がり。これが限界、米軍・米兵の行動は自分に甘い。占領地では何をやっても許されるという意識。これは時代錯誤ではなく、米兵・米軍の現在の意識だ。「尖閣諸島の問題や抑止力としてオスプレイが必要」と言った議員がいるらしいが、米国・米軍が日本・日本人を守るわけがない。あくまでも自国の防衛のために日本に「駐留」しているにすぎないのだから。(F)